



プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社  
〒658-0032  
神戸市東灘区向洋町中 1-17  
報道関係連絡先：0120-123021  
<http://jp.pg.com/>

News Release

2016年3月

## 経営トップ直轄の啓発組織を立ち上げ、 “ダイバーシティ&インクルージョン(多様性の受容と活用)”への取り組みを対外的に推進 「P&G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」発足 -活動を通じ、P&G のダイバーシティ&インクルージョンやイノベーションも更なる進化へ-

P & G (プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社、本社：神戸市) は、経営戦略の一環として取り組んでいる「ダイバーシティ&インクルージョン (多様性の受容と活用、D&I)」への取り組みを対外的にも推進し、日本社会・日本企業の更なる発展に貢献するとともに、P & G 自身のダイバーシティ&インクルージョンやイノベーションを更に進化させるために、このたび、啓発組織「P&G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」を発足いたします。

近年、社会の少子高齢化や企業のグローバル化などを背景に、“女性の活躍推進”や“男性の育児参加の促進”、“グローバルな人材の育成”など、より多様な人材を経営施策に取り入れる「ダイバーシティ経営」の必要性が高まっており、各企業がダイバーシティ経営に取り組んでいます。一方で、実際に社内でスムーズに女性登用を進めたり、男性社員も気兼ねなく育休を取得できるようにするためには、数値目標の設定や、ダイバーシティに関する制度の導入だけでなく、ダイバーシティを“風土”として根付かせることが必要です。

P & G では、そのような“風土”を醸成するための一つのきっかけとして、当社で経営戦略の一環として長年取り組んできた「ダイバーシティ&インクルージョン」という理念が役立つのではないかと考え、日本社会・日本企業におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進に貢献すべく、これまで長年培ってきたダイバーシティ経営のノウハウ・知見を活用し、経営トップ直轄の啓発組織「P & G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」(代表：プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社 代表取締役社長 スタニスラフ・ベセラ) を、このたび立ち上げることとなりました。

### 「P&G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」活動骨子

- ①日本におけるダイバーシティ経営の課題の顕在化と、「ダイバーシティ&インクルージョン」の啓発活動  
プレス向けセミナーや一般向けシンポジウムの開催、ビジネスパーソン対象のアンケート調査の発表などを通じて、日本におけるダイバーシティ経営の現状と課題を顕在化させながら、「ダイバーシティ&インクルージョン」の意義を啓発していきます。
- ②P&G のノウハウを活用した、実践的な「ダイバーシティ&インクルージョン研修プログラム」の対外提供  
P & G が長年培ってきた、ダイバーシティ&インクルージョンに関する知見・ノウハウを活用した「ダイバーシティ&インクルージョン研修プログラム」を開発し、日本企業向けに対外提供することで、各企業が「ダイバーシティ&インクルージョン」を自社で推進させるために必要となる実践的なスキルアップに貢献していきます。まずは、2016年5月ごろより、プログラムの検証も含め試験的に開始いたします。

また、本プロジェクトの活動を通じて、社外と接点を持つことは、当社にとっても良い刺激となり、P & G のダイバーシティ&インクルージョンやイノベーションも、更に進化させることにも繋がると考えています。P & G の研修プログラムや社員支援制度をはじめとする社内施策の更なる進化や、優秀な人材の確保など、この活動によって得たものを社内に還元し、企業としての更なる進化・成長に繋げてまいります。

(プロジェクトの詳細は2ページ目をご参照ください)

## 組織概要

<b>組織名</b>	P&G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト
<b>代表</b>	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社 代表取締役社長 スタニスラブ・ベセラ
<b>プロジェクトリーダー</b>	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社 ヒューマンリソース シニアマネージャー 山本 真一郎 プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社 広報渉外本部 シニアマネージャー 住友 聡子
<b>プロジェクトの目的</b>	①P&G のダイバーシティ経営に関する知見・ノウハウを対外的に提供しながら、「ダイバーシティ & インクルージョン」という理念を広く社会に推進することで、特に日本企業のダイバーシティ経営の発展に貢献する ②プロジェクトの各活動や、それによる社外とのつながりを通じて、P&G 自身のダイバーシティ&インクルージョンや、イノベーションを更に進化させ、継続的な成長へと繋げる
<b>組織図</b>	<pre> graph TD     Rep["&lt;代表&gt; スタニスラブ・ベセラ (代表取締役社長)"]     SIA["&lt;シニアアドバイザー&gt; アルバート・ファン (ヒューマンリソース 執行役員)"]     PL["&lt;プロジェクトリーダー&gt; 山本 真一郎 (ヒューマンリソース) 住友 聡子 (広報渉外本部)"]     PM["&lt;プロジェクトメンバー&gt; 日高 由香子 (マーケティング本部)、長谷川 まや (研究開発本部)、 関 理恵 (インフォメーションテクノロジー)、清水 恵美子 (生産統括本部)、 市川 恵利 (広報渉外本部)、松野 美緒 (ヒューマンリソース)"]     DT["D&amp;I トレーナー"]     DP["各部署"]      Rep --- SIA     Rep --- PL     PL --- PM     PM --- DP     DT --- PM     </pre>

## 主な活動内容

### ・「P&G ダイバーシティ&インクルージョン プレスセミナー」(3/15)

日本におけるダイバーシティ経営の課題や現状を伝え、その中で今、日本企業が「ダイバーシティ&インクルージョン」に取り組むべき意義を訴求する、報道関係者向けのプレスセミナーを実施。プロジェクトの主要メンバーのほか、ダイバーシティ分野の有識者も登壇。

### ・「ダイバーシティに関する潜在意識調査」発表 (3/15) ※調査結果は別紙で参照

日本におけるダイバーシティ経営の現状把握と、課題の顕在化のため、一般のビジネスパーソン 2,000 名を対象にアンケート調査を実施。

### ・「P&G ダイバーシティ&インクルージョン シンポジウム (仮) 」(5月予定)

「ダイバーシティ&インクルージョン」を広く訴求するために、人事担当者や管理職など一般のビジネスパーソンを対象にしたシンポジウムを実施予定。

### ・「ダイバーシティ&インクルージョン研修プログラム」の対外提供 (5月ごろ～試験開始予定)

P&G が社員向けにおこなっている、ダイバーシティ&インクルージョン研修や、管理職向けのリーダーシップ研修をベースに、ダイバーシティ&インクルージョン推進の意義や、社内に浸透させるためのノウハウなどを共有する「ダイバーシティ&インクルージョン研修プログラム」を開発し、日本企業向けに対外提供(P&G の社員トレーナーが各企業を訪問し、実施)。まずは 2016 年 5 月ごろより、プログラムの検証も含め試験的に開始予定。

## トップメッセージ

### ■「P&G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」発足にあたって

P & G にとってのダイバーシティとは、社員に対する福利厚生の一環ではなく、重要なビジネス戦略の 1 つです。私たちは社員一人ひとりが最大限に能力を発揮できるよう、個々の多様性(ダイバーシティ)を尊重し、またそれを受容・活用(インクルージョン)することで、新たなイノベーションを生み出すとともに、グローバルに活躍する人材を育成し、企業として成長してきました。これが、我々が長年大切にしている、「ダイバーシティ&インクルージョン(多様性の受容と活用)」という理念です。

P & G は、この「ダイバーシティ&インクルージョン」を長年にわたって推進してきたからこそ、日用品という成熟市場においても、ビジネスを成長させ続けることができている。男女の性別だけでなく、年齢、国籍や信条の異なる多様な社員の視点・価値観・経験・背景を活かすからこそ、新たなイノベーションが生まれ、消費者の多様なニーズにお応えする、最高の製品開発に繋がっているのです。

私自身も、これまでのヨーロッパや米国、アフリカ、そして日本と、多様な業務を通じて、「ダイバーシティ&インクルージョン」の意義、重要性を強く感じています。そしてダイバーシティ&インクルージョンを推し進めていくためには、その土台となる企業風土の醸成が不可欠であり、それには経営トップによるコミットメントが重要だと考えています。私自身も自らの行動を通じて、特に「インクルージョン(受容と活用)」を実践するよう、日々心がけています。

さらにダイバーシティ&インクルージョンは、いち企業の中だけでなく、日本社会全体に醸成されることで、日本全体の活性化にもつながると信じています。

そこで今回、我々は啓発組織「P & G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」を立ち上げ、長年にわたって、学び培ってきたダイバーシティ&インクルージョン推進の経験と知見を対外的に提供・発信することで、ダイバーシティ&インクルージョンを活かした世界で活躍するような人材を育成するとともに、働き方の柔軟性を促進するきっかけとなり、日本社会のダイバーシティが次のステージに進むために貢献していきたいと考えています。

そして何より、このプロジェクトを通じて社外と接点を持つことは私たちにとっても良い刺激となり、P & G 自身のダイバーシティ&インクルージョンやイノベーションを 更に進化させることにも繋がると考えています。

社会全体で、多様で優秀な人材を育成することは、当社やビジネスパートナーをはじめ、様々な分野でのイノベーション進化へつながり、それによってより高いレベルで消費者のニーズにお応えできるようになれば、ビジネスを継続的に成長させていくことができます。その中で、P & G としても、このプロジェクトの活動により、企業として更なる進化・成長を遂げたいと確信しています。



プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社  
代表取締役社長 スタスラブ・ベセラ